

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j40302	保育原理	中西綾子	1年次・前期	講義・2単位	卒業必修

授業の概要 / Course Outline
<p>保育の意義と目的、保育の実践を支える基本的な理論と諸制度を学ぶ。保育に関する代表的な理念・思想がどのような歴史的・社会的背景によって登場し、現代の保育にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。さらに保育をめぐる社会の現状と課題について、歴史や諸外国の保育事情をふまえた広い視野で分析する視点を養う。自分の見解を理論的に説明できるようになることを目標とする。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育の意義について理解する。	A-①、B-②
・保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。	A-②、B-②
・保育の思想と歴史的変遷を理解する。	A-①、B-②
・保育を取り巻く社会的課題とその対応施策を考察する。	A-①、B-②

授業方法 / Method of instruction	対面授業
活用される授業方法 / Teaching methods used	【－】プレゼンテーション 【○】PBL(課題解決型学習) 【－】グループワーク 【－】実習・実技 【－】ディスカッション・ディベート 【－】該当なし

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う。
レポート試験 Report Examination	40%	課題(保育歴史マップ)提出
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	10%	授業への取り組み(コメントペーパー等)。

教科書 / Textbooks
使用しない。毎授業時に資料を配布する。

参考書 / Reference Books
厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018年、天野珠路・北野幸子(編集)『新保育基本シリーズ1保育原理』中央法規、2019年

予習・復習 / Preparation・Review
<p>授業後は配布した資料を読み理解を深めること。試験では手書きの指定シートのみ閲覧可とする。指定シートについては授業内で指示する。従って、復習として、資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。(90分程度)</p>

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note
<p>新聞やテレビで報道される保育・子育てに関するニュースや、子どもが登場するドラマ、映画、絵本等に日頃から関心をもち、自分なりの意見をもちながら見ることを推奨する。  【実務家教員】保育士や欧州でのナニーの経験をもとに、保育の意義と目的、保育の実践を支える基本的な理論と諸制度について講義する。</p>

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション・保育とは何か
	授業の進め方の説明と、保育とは何か、教育とは何かを学ぶ。
02	保育の内容
	保育内容5領域の概念を遊びの視点から考える。
03	保育所保育指針における保育の基本①乳児、1歳以上3歳未満児の保育
	発達過程と保育の基本をふまえ、具体的な援助やかかわりを理解する。
04	保育所保育指針における保育の基本②3歳以上児の保育
	「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」の基本概念を理解する。小学校の学びへの接続を考える。
05	さまざまな保育思想から現代保育を考える①子どもの<発見>
	子どもの<発見>と<誕生>。近代以前の子育てや子ども観の変遷を理解する。
06	さまざまな保育思想から現代保育を考える②近代以前・近代市民社会への転換期の子ども
	近代以前から近代市民社会への転換期における保育思想、保育実践を理解する。
07	さまざまな保育思想から現代保育を考える③児童中心主義
	国民教育制度の発展と児童中心主義の保育思想、保育実践を理解する。
08	さまざまな保育思想から現代保育を考える④日本の近代保育教育の思想と実践
	日本における乳幼児期の教育の始まりと、教育運動、思想と実践を理解する。
09	保育制度の基本①保育に関する法体系と制度
	子ども・子育て新制度を中心に多様な保育・子育て支援と関係法令について理解する。
10	保育制度の基本②保育の社会的役割と責任
	子ども家庭福祉、公的施設としての責任や、子どもの権利擁護の視点から保育を理解する。
11	子どもの理解と保育計画・評価
	PDCAサイクルを理解し、保育の計画、評価と記録の重要性について学ぶ。
12	諸外国の保育の現状と課題①
	保育には、子どもの権利保障の視点から世界共通の部分と、国や生活や文化によって異なる部分があることを理解する。
13	諸外国の保育の現状と課題②
	多様性の保障とインクルーシブ保育について、イギリス、クロアチア等の実践から考える。
14	日本の保育の現状と課題
	現状を少子化や待機児童対策、早期教育、小1の壁等のさまざまな視点から捉え、多様化する保育ニーズと保育課題を考える。
15	まとめ、多文化共生時代の保育に向けて
	講義内容の総括。多文化共生時代の保育について考える。